(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 椿の里作成日: 平成 29 年 4 月 29 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容も画一化しているため、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や、地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけでなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	37	災害対策	法人合同の避難訓練を実施しているが、ホーム独自の夜間想定訓練を実施し、夜勤者1人で9名の利用者を、安全に避難場所に短時間で誘導できる体制を整えていく。	地域の方の参加や協力を得て、防災訓練を実施し、利用者が二次災害に会わないための避難場所での見守り等をお願いし、地域の災害時には、ホームの職員が駆けつける体制を確立し、地域と相互協力体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。